

6月28日 神戸新聞朝刊に当店の記事が載った。思った以上に大きく、びっくりであった。いつも通り、代表の大橋崇博が取材を受けるものと思っていたのだが、話の流れからいつの間にか私が受け答えをすることに。あれ？聞いてなかったんですか？

7月某日 垂水センター街の夏イベントの準備が始まる。昨年はコロナ禍のため中止したが、今年はハロウィーンの時のような展示形式で開催することに。タイトルは「鳴らせ風鈴！魅せて浴衣市！」。30日まで手作りの風鈴を募集し、8月2～7日の間、垂水センター街に展示します。最終日は浴衣を着てご来場の上、参加店でお買い物いただいた方に限定サービスがあります。詳しくは各店舗に貼ってあるポスターをご覧ください。

◇次回29日はダイハン書房・山ノ上純さんの日記です。



三島岳斗の名作が復刊！  
いろいろな意味でうれしい

### 新書

- 宮沢孝幸「京大 おどろきのウイルス学講義」(PHP研究所・1023円)
- 地上彰、佐藤優「真説 日本左翼史」(講談社・990円)
- 谷川浩司「藤井聡太論」(講談社・990円)
- 藤原幸平「人新世の『資本論』」(集英社・1122円)
- アンデシュ・ハンセン「スマホ脳」(新潮社・1078円)
- 藤原辰史ほか「『自由』の危機 息苦しさの正体」(集英社・1166円)
- 鳥集徹「コロナ自粛の大罪」(宝島社・990円)
- 青木理、安田浩一「この国を覆う憎悪と嘲笑の濁流の正体」(講談社・990円)
- 吉川一義「『失われた時を求めて』への招待」(岩波書店・968円)
- 高木和子「源氏物語を読む」(岩波書店・990円)

「ブルー」が文庫化されました。『ぼく』。みんな違って当たり前。ようとしてしまうのだから。今この(ジュンク堂書店三宮店・安藤志帆)



## ゆんたくブックス 3

### 本で知る沖縄

兵庫県参与  
石原憲一郎さん

# 岡本太郎の言葉、今こそ



いしはら けんいちろう 1947年神戸市生まれ。東京農業大卒。建設省(現国土交通省)勤務を経て兵庫県職員に。県立淡路景観園芸学校校長などを歴任。

1冊目は、岡本太郎著「沖縄文化論 忘れられた日本」(中央公論社、中公文庫)です。復帰前、1959年の優れたトルボラーシユで、87、89年の国営沖縄記念公園事務所長の在任中に含まれました。中国や日本、朝鮮などの影響が混交する沖縄の文化芸術を私は素晴らしいと感じていたので、著者はそれよりも、一見何もない聖域である御嶽や、祈りを形にした祭祀に魅了され、高々評価している。こんな見方があるのかとショックでした。

中でも心に残るのは、72年の復帰への思いを記した文章です(増補として収録。「沖縄の人に」)



首里城火災の約1カ月後、現場を訪問。龍柱は残っていた。2019年12月、焼けけた瓦の再生事業について説明を受ける石原憲一郎さん(左)＝20年11月(いずれも石原さん提供)

今回の案内人は、日本復帰20年に合わせた首里城の正殿復元事業を現地で統括し、2019年の焼失後は再建を願って活動する兵庫県参与(花と緑のまちづくり推進担当)の石原憲一郎さんです。

強烈に言いたい。沖縄が本土に復帰するなんて、考えるな。本土が沖縄に復帰するのだ、と思うべきである。著者はそうつり、独自性を失わず「豊かに生きぬいてほしい」と訴える。しかし相次ぐ

リポート開発や米軍基地跡地のまちづくりを見れば、現実とは違うのではないだろうか。これは全国の地方都市にも共通しています。東京一極集中が止まらない今、異質ではあるけれど、根源を追究する岡本氏の言葉に触れるのは意味があると思います。

「松山御殿物語」(ポーターインク)も紹介します。琉球王国最後の国王の四男、尚順氏の遺稿などを収め、王朝の生活を今に伝える一冊です。氏の六男である尚詮氏は、開発ラッシュの中で景観保全を強く訴えている。泡盛を飲みながら何度も語り合ったことを思い出します。

首里城は14世紀末ごろ創建され、約500年にわたる琉球王国の政治・外交・文化の中心でした。

鎌倉芳太郎氏の評文です。鎌倉氏は幅広い分野の人と精神的に会い、信頼を得て門外不出の史料の見字を許され、詳細な記録を残しました。戦時中は東京の自宅の防空壕に大量の写真のガラス乾板を保管し、守り抜いた。これは沖縄戦で失われてしまった文化財、例えば歴代琉球国王の肖像画(御後絵)などの復元に極めて大きな役割を果たし、往時の風景も鮮やかによみがえらせたのです。世界遺産となつた首里城を語る上で欠かせない人物です。鎌倉氏は、高名な建築家、伊東忠太氏とともに首里城の取り壊しを阻止。また私が関わった事業でも、「鎌倉資料」があったからこそ正確な復元を成し得たのです。

なお2冊とも、琉球王国の過酷な支配を受けた側である八重山・宮古地方にも目配りしており、重みを感じます。

私は92年の復元に向けて現地責任者を務めました。一帯の立ち入り制限される中、囲いの外から城内にある10の御獄に祈りをささげる住民の姿に心を打たれました。文化を深く理解したいという思いが高まり、休日には御獄やグスク(城など)を訪ね歩きまし

離れた後も毎年のように行っていたので、19年10月の火災は人生のページが破かれたようで、思わす現在にじんできました。首里城は現在、22年中の着工、26年までの完成を目指しています。

沖縄訪問は100回ほどになります。きれいな海に降り、昔の仲間と沖縄料理を食べ、泡盛を飲む。だけど、与えてもらうばかりでいいのだろうか。考えているところではなにか。考えているところでは、第2木曜に掲載します。

好きなウチナーグチ (沖縄の言葉)

ひやみかせ

さあ立ち上がろう、という意味です。首里城再建に向けた地元紙のシンポジウムで知り、いい言葉だなあと思って。自身の講演などでも紹介しています。

## 今夜のBS・ラジオ・FM番組

BS	BS-TBS	BS7	BSテレ東	大坂 666	大坂 828	ラジオ関西	ABCラジオ
朝日 6.00	6.00	5.44	4.05	4.05	5.00	5.35	5.25
BS6	BS-TBS	BS7	BSテレ東	大坂 666	大坂 828	ラジオ関西	ABCラジオ
6.30	6.30	6.30	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
7.30	7.30	7.30	6.55	6.55	6.55	6.55	6.55
8.00	8.00	8.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
9.00	9.00	9.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
10.00	10.00	10.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
11.00	11.00	11.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00

スピーディに対応する  
スタッフグループへ  
ご用命ください。

Astaff, Inc.  
アスタフ株式会社

本社  
〒650-0001 神戸市中央区東ふもと2-1-1  
Tel: 078-322-1181 Fax: 078-322-1183

神戸支社  
〒650-0001 神戸市中央区東ふもと2-1-1  
Tel: 078-322-1181 Fax: 078-322-1183

姫路支社  
〒670-0001 姫路市東区西町1-1-1  
Tel: 079-222-3101 Fax: 079-222-3400

尼崎支社  
〒651-0001 尼崎市東通町1-1-1  
Tel: 06-6415-7750 Fax: 06-6415-7930

明石支社